

光栄、緊張感がある

財務金融
委員長

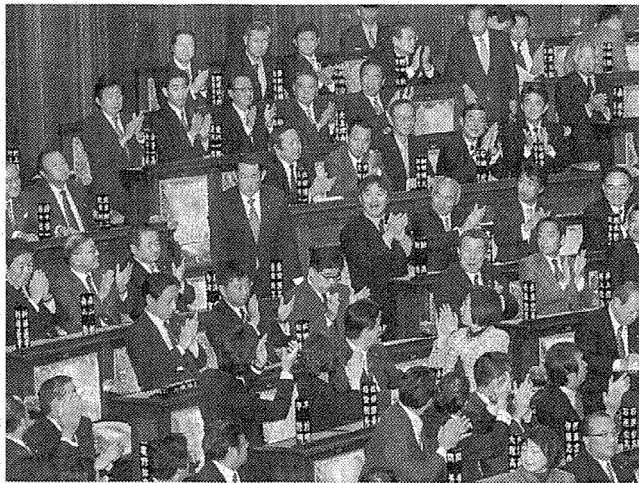
金田衆院議員
来年の抱負

「日本の誇り取り戻す年に」

先の衆院選秋田2区で
当選を果たし、27日の衆
院本会議で財務金融委員
長に選出された自民党の
金田勝年氏(63)が30日、
能代市中和の事務所では
羽新報社にこれからの抱
負などを語った。



今後の政治活動への意気込みを語った金田氏



27日の衆院本会議で財務金融委員長に選出され、起立する金田氏

して郷土に誇れる政治を取り戻す体制をつくるための年だった」と今年を総括する一方、「来年は景気、雇用、暮らしを大切にしながら日本の誇り

を取り戻す年にしたい」と意気込んだ。これまで参院2回、衆院2回の当選で、農林水産政務次官や外務副大臣、参院厚生労働委員長

などを歴任。元大蔵官僚であり、財政や金融は専門だが、景気・雇用の回復、デフレ・円高からの脱却は政権に課せられた最重要課題。財務金融委員長としてその議論を仕

切る立場となった金田氏は、「光栄であり、身の引き締まる思い。かつて経験していた分野とはいえ緊張感がある」と話した。

そして「秋田2区を活力ある住み良い地域にしたい。その原点を忘れることなく頑張ってきた」と強調。「農林水産、国土交通、厚生労働など秋田が求めている分野については、予算の面から

目配りしたい」と意欲を見せた。



財務金融委員長の指名を受け、議員の拍手を受ける金田議員(27日・衆院本会議場)

「身が引き締まる思い」

金田 衆院議員 財務金融委員長に就任

27日の衆院本会議で財務金融委員長に選出された自民党の金田勝年衆院議員は30日、能代市の事務所では北鹿新聞などの取材に応じ、委員長就任について「安倍内閣が最も力を入れるデフレ脱却や景気、雇用対策を担当する。光栄かつ身の引き

締まる思い」と述べたほか「秋田を『活力ある住みよい地域にした』との原点を忘れない」との原点を忘れず、頑張りたいなどと、新年への抱負を話した。

金田氏は参院、衆院ともに当選2回。「参院1期は衆院2期」と扱われ、衆院では「当選6回」とみなされる。全部で12列ある本会議場の議席は、前から9列目。同列には厚生労働大臣の田村憲久氏ら、1列後ろには安倍首相、石破茂幹事長、甘利明経済財政担当相らが並ぶ。

参院時代に外務副大臣を務めた際、大臣だった麻生太郎元首相が財務・金融相となり、その担当委員会を任せられることになった。

大蔵省主計官を務め、参院時代には財政金融委員会に所属した経験から、財務金融委員会は「財政や金融政策を議論していくことになる。縦割りではなく、横に広く各分野を横断的にみることができ」と説明。「政権交代後の最も大事な課題を議論しながら、地元・秋田の関心が高い

農林水産や国土交通、厚生労働などの分野にもより一層、目配りをしていく」と述べた。

24年を「政権を奪還し、郷土に誇りを持つ政治のための体制づくりの年だった」と回想。新年に向けては「景気、雇用、暮らしを大切にしながら、日本の誇りを取り戻す年にしたい」と抱負を語った。



本会議で財務金融委員長の指名を受けました



初の委員会で



正副議長・各委員長とともに



師走の総選挙 雪の中元気いっぱい箱乗り遊説



祝当選・ご支援に感謝



決意新たに初登院

衆・財務金融委員長 衆議院議員

かねだ勝年

